

第 78 号

発行
米原市伊吹老人クラブ連会局
編集
米原市伊吹老人クラブ委員会
広報
米原市伊吹老人クラブ連事務局
TEL (0749) 58-1634



水長修
水柳

老いたれど
漲るパワー
秋一と日



さあ一競技の前に準備体操(長浜ドーム)

“会員の英知で当番老クの重責を”

伊吹老人クラブ連合会 副会長 田中正紀



今年も早や、秋色深まりを見せ、朝夕は寒さを感じる頃となりました。会員の皆様には御健勝にてお過ごしのこととお慶び申上げます。

本期の事業計画も、順調に推移しておりますのも会員諸氏の御支援、御協力を頂いています。お陰と深く感謝致しております。

今年度と来年度の二年間、伊吹老人連は米原市の当番として、各事業を担当する事になります。

九月二十五日に米原市高齢者スポーツ大会が長浜ドームで開催。各地から選出された選手の競技の熱戦は伯仲した内容です。吹老ク連は米原市の当番として、各事業を担当する事になります。

会に際して、ゲートボール連盟、ラウンドゴルフ連盟の役員様始め、各団体の会長さん、本部役員の皆様に準備、運営全般に亘り御尽力を頂き、お陰をもちまして大会を成功裡に終える事が出来ました。心より厚くお礼申し上げます。

この夏、ロンドン五輪は連日テレビ放送があり、私も応援をしていました。然しながら、残念な事にパラリンピックはスポーツニュースの中で流される程度でした。車椅子テニス、ゴルボーグル、水泳等々：障害者の死力を尽して戦っている姿を見ていました。“がんばれ”負けるなど思わず声を掛けていました。出

そんなトップアスリートが生まれるのも、スポーツがみんなの身近な存在であり、世代を問わず日々から運動に親しみ、練習とたゆまざる研鑽を重ねてメダルを獲得されました。メダリストの皆様に賛辞と敬意を送りたいと思います。

身を健やかに保つ努力が肝心です。私達、高齢者も人と人のつながりを育み、孤立化を防ぐ為、ボーツを通じて交流を広め活力ある長寿社会を作り出す為に、お互い健康で心豊かな人生を送りたいものです。

今後共、より明るく楽しい元気な老ク連であります様に、皆様の御力添えを宜敷くお願ひ致します。

来ればもっと放送をして欲しいものです。

過日、新聞の投稿欄に「凱旋パレード、差別なくして」と障害者の声が載っていました。銀座での凱旋パレードは健常者のメダリストだけで行われた様です。障害者のメダリストも、同じ仲間として全員参加すべきです。投稿者のみならず、皆様もそのように感じられたのではないでしようか。今後はこの様な事がない様に配慮し、差別のない社会を作り上げたいものです。

トップアスリートは日々、練習とたゆまざる研鑽を重ねてメダルを獲得されました。メダリストの皆様に賛辞と敬意を送りたいと思います。

身を健やかに保つ努力が肝心です。私達、高齢者も人と人のつながりを育み、孤立化を防ぐ為、ボーツを通じて交流を広め活力ある長寿社会を作り出す為に、お互い健康で心豊かな人生を送りたいものです。

今後共、より明るく楽しい元気な老ク連であります様に、皆様の御力添えを宜敷くお願ひ致します。

老ク連県外一泊旅行を終えて 素晴らしい天候に恵まれて

伊吹老ク連研修部長 児玉正昭



皆さんお変わりありませんか。暑かった夏も九月後半に入つてようやく気候も良くなつてきました。

気象予報で台風十七、十八号が発生となつたが、しかし当日九月二十七日は素晴らしい天候に恵まれ絶好の研修日和となりました。

今回の研修旅行は七十七名の方のご参加を頂きました。

二台のバスは養老SAで合流し、一日目は高山、赤かぶの里で昼食、本日の目的地上高地に向う。雲一つない澄みきつた気持ちの良い空、山と水の風景が一段と美しく、清らかに流れる梓川、河童橋から望む山々の雄姿、お互いがカメラに収め川沿いを散策後、安曇野ワイナリーに立寄り、本日の宿、大町温泉黒部ビューホテルに十七時過ぎに到着。

自然を望む庭園露天風呂、気持ちよい湯につかり一日の疲れを忘れさせてくれます。

何と云つても楽しみは夜の宴会です。山田会長の挨拶にて十八時過ぎより始まり、ラオケ、そして各单クの方々

との交流に花が咲き楽しいひとときでした。時間はまつてくれません。最後に毎年恒例となつています江州音頭を船川富太郎さんの美声で氣勢を上げ、楽しい一時も幕となり各々の部屋へと散つていった。

石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」でも御存じかと思いますが、昭和三十一年に着工、七年の歳月を要し五一三億円の工費で、延べ一千万人の人手、その難工事で一

七一名の尊い命の犠牲者が出て中、昭和三十八年六月、遂にくろよんは完成。中部山岳国立公園の

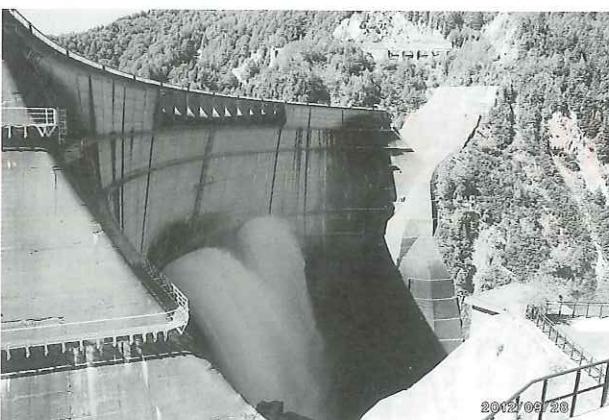
中、三千m級の山々が連

なる立山連峰に併む黒部ダム。大自然の中、美しいアーチを描く黒部ダムは日本一の高さを誇り、見るものを圧倒しました。

二日目は九月二十八日、お世話になつた黒部ビューホテルを後にして、今日も素晴らしい天候に恵まれ目的地黒部ダムに向う。

日本唯一の電気で走るトロリーバス扇沢駅から黒部ダム駅間六・一km、走行時間十六分、ホーム出口から地中階段

二三〇段を上りダム展望台へ上る。



立ち寄り、二日間の日程は終り、家族が待つ家路に向う。最後に車中でビンゴゲームで楽しみ、全予定は終つた。この方の参加者をお願いしたいと思います。

最後にご参加頂きました皆様に、何ごともなく無事に研修が終つたことに心から感謝を申し上げます。

最後にご参加頂きました皆様に、何ごともなく無事に研修が終つたことに心から感謝を申し上げます。

最後にご参加頂きました皆様に、何ごともなく無事に研修が終つたことに心から感謝を申し上げます。

最後にご参加頂きました皆様に、何ごともなく無事に研修が終つたことに心から感謝を申し上げます。

老々連 一泊旅行に参加して

大自然のすばらしさを堪能



下板並老人クラブ

長谷好子

の先輩会友と共に、何事もなく、すばらしい大自然を満喫出来た事と、沢山の顔見知りの方との出逢いに心豊かに満足の旅となつた事、このご縁に深く感謝申上げます。

ありがとうございました。

九月も末、二十七日
八日の両日、絶好の研
修日和となり一路信
州へ。地元の特産品が
並ぶ「赤かぶの里」で
の昼食を終え、上高地
へ。さすが特別天然記
念物に称される上高
地で河童橋から眺め
る山々の雄々しさ、ま
さに「神が降り立つ」

神々しさに感動。余韻
も覚めやらぬ間に、甘
い匂いに誘われてワ
インの試飲、機嫌よく
お買物。ワインの原料、
畑等存分に見学をし、
ゆつたりした一時を
過ごし、向かうは宿泊
地大町へ。どんなご馳
走かな?幾つになつ
ても食べる事は貪欲。
内にホテル着。夜の宴

初参加ですが、区



天候に恵まれ楽しい旅行でした

弥高老人クラブ

松尾敏子

朝夕めつきり寒くなつて来ました。台風の心配もなく、一泊研修旅行に参加させていただきました。一日目は、赤かぶの里で昼食をとり、上高地散策は天気もよく北アルプスの山々が岩肌や深緑に映え、水の流れもいつそう涼しさを感じました。紅葉はまだでしたが雪の山並も見たいと思いました。二日目は黒部ダムでの自由散策で、十五分のトロリーバスに乗り、トンネルの中の青サインは、最大難所工事の所だったそうです。殉職慰靈碑、建設工事の記録写真が展示してあり、たいへんな工事だつた事を知る事が出来ました。トンネルを出ると二ヶ所から水が放水されており、水しぶきで虹が映え、ステキな光景でした。山は所々に色づき始めて、たくさんの人での賑わいででした。大王わさび農園により、黒いテントと水を流しながらの栽培でした。天候に恵まれ楽しい旅行でした。又機会があれば参加したいと思います。





保体部長

松井重廣

スポーツ大会(前期)を終えて

会員の皆様には、日々健康でお暮らしのことと存じ上げます。上期に行われた各種スポーツ競技も各単ク会長さんはじめ、多くの方々の御参加をしていただき終ることができました。

九月二十五日には、米原市高齢者スポーツ大会が長浜ドームで開催され、今年、来年と伊吹老ク連が当番ということで、保体部員、役員、全員が初めての経験であり大変に苦労をしました。

手元には何の資料もなく当日の会場設定など多くの課題を処理するのに、日々あちこちの老ク連の方々に聞いたり、又、長浜ドームへも足を運び、係員の方々に会場内のことと詳しく述べたりし、それを参考にしながら資料をつくり上げました。

当日には早朝から伊吹の各連盟の方々や、長浜ゲートボール

会員の皆様には、日々健康でお暮らしのことと存じ上げます。上期に行われた各種スポーツ競技も各単ク会長さんはじめ、多くの方々の御参加をしていただき終ることができました。

後期についてもスポーツ競技が実施され、一人でも多くの方々が参加され、他の地域の人と交流を深めて欲しいと思いま

す。

連盟の方々にご協力していただき、コース設定や、競技終了までご苦労をおかけしましてありがとうございました。

秋季グラウンドゴルフ大会 10.4 参加 174名 伊吹第一グラウンド、県立伊吹運動場

| 順位 | Aコース 参加者 86名 | | Bコース 参加者 88名 | |
|----|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | 氏名 | 1R・2R 合計 | 氏名 | 1R・2R 合計 |
| 1 | 堀川 宏 | 56 | 松井 賢一 | 54 |
| 2 | 堀江 紀子 | 57 | 堀江 昭子 | 57 |
| 3 | 森 三千代 | 58 | 鈴木 富美栄 | 60 |
| 4 | 堀江 紀志男 | 58 | 的場 喜代司 | 60 |
| 5 | 山本 静子 | 58 | 山本 勇 | 61 |
| 6 | 岩崎 忠義 | 59 | 吉川 正資 | 61 |
| 7 | 藤田 忠市 | 60 | 西川 好信 | 61 |
| 8 | 藤 敦 勝 | 60 | 福田 悅子 | 62 |
| 9 | 辻村 裕次 | 62 | 滝本 善子 | 63 |
| 10 | 中辻 英雄 | 63 | 仲谷 信子 | 63 |

ホールインワン(A,Bコース共3番)

山本静子(伊吹)、安藤 彰(春照)、岩崎忠義(伊吹)
仲谷信子(藤川)、藤田忠市(高番)、的場喜代司(春照)
以上6名

夏季ゲートボール大会 6.27 ~ 28 すばーく伊吹

| 順位 | チーム名 | 勝敗 | 順位 | チーム名 | 勝敗 |
|-----|------|------|-----|------|------|
| 優勝 | 東部A | 3勝0敗 | 7位 | 弥高 | 2勝1敗 |
| 準優勝 | 大久保A | 3勝0敗 | 8位 | 春照A | 2勝1敗 |
| 三位 | 大清水A | 2勝1敗 | 9位 | 村木A | 1勝2敗 |
| 敢闘賞 | 春照B | 2勝1敗 | 10位 | 大久保B | 1勝2敗 |
| 5位 | 杉澤A | 2勝1敗 | 10位 | 伊吹A | 1勝2敗 |
| 6位 | 大清水B | 2勝1敗 | 12位 | 東部B | 1勝2敗 |

五月の伊吹地区大会にて出場権を得ましたが、我がチームは「後期高齢者チーム」です。三人の合計年齢は!!○×△才!!他のチームと比べて年齢で劣勢を感じながら八チーム二コートにわかれ、一チーム三試合方式で試合開始。緊張するも第一試合勝利。良いスタートとなつた。第二試合もまずまずの内容で連勝する。こうなるともう一勝をと欲がでる。欲は禁物、対戦相手も強者、追いこし追いこされ繰りかえし、シーソーゲームが

五月の伊吹地区大会にて出場権を得ましたが、我がチームは「後期高齢者チーム」です。三人の合計年齢は!!○×△才!!他のチームと比べて年齢で劣勢を感じながら八チーム二コートにわかれ、一チーム三試合方式で試合開始。緊張するも第一試合勝利。良いスタートとなつた。第二試合もまずまずの内容で連勝する。こうなるともう一勝をと欲がでる。欲は禁物、対戦相手も強者、追いこし追いこされ繰りかえし、シーソーゲームが

山田大会長の挨拶にはじまり、各老ク連よりの参加者総勢四〇余名は、日頃の練習成果をこの大会において、良い結果をだすべく善戦されたことと思いま

す。

今大会の運営にたずさわられた山田大会長他スタッフの労に、又大会出場者を応援していただき、いた老ク連会員の皆様に厚くお礼を申します。

個人のワザとチームプレーを基に、ミスプレーをお互いに力

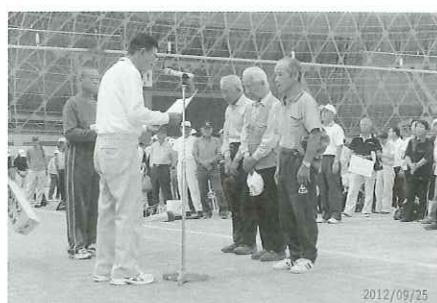
バーザながら三試合全勝で終ることができました。

実力は三割。七割は相手チームに助けられた結果と思っていました。ペタング競技は一投で大量点にも、又〇点にもなるおもしろい競技です。

私がチーム三人一投で逆転したときの喜びを味わえた良き大会でした。

米原市高齢者 スポーツ大会

続く。これで万事休すかと…運よく相手に助けられ第三試合も勝利。



2012/09/25

ニュースポーツ 「ワナゲ」に出場して



川崎 善正
伊吹親和会

私は親和会に入会当初より、老ク連の各スポーツ大会において輪投げの伊吹代表として毎回出場させていただいております。それというのも他にこれという得意なスポーツがありません。

グラウンドゴルフも会員とは名ばかり、道具だけは揃えました。が練習もろくにせず埃をかぶつている有様です。入会当時親和会会长より「今度のスポーツ大会で何かに出てくれんか」と云われましたが「さて、私に何が出来るかな?」「輪投げなら出来るんじゃないか」と。想い起せば、初出場以来八年を経過していますが、中々上達しません。

私の先輩である堀川宏さんも毎回私と一緒に出場しておられますが、堀川さんは十年選手、

爽やかな秋晴れの中、Bコートにて優勝させていただき、大変嬉しく思っています。県立運動場からのスタートでしたが、出だしの五〇メートルで第一打

がかなりオーバーしてフェンス

す。老ク連におかれましても、毎年恒例のスポーツ大会が、四季を通じて伊吹山の麓のグラウンドで、又、冬期は屋内での多様なスポーツは、私達高齢者の出合の広場もあり、又スポーツを通じて相互の健康の確認のより所かと思います。

毎回、大会に参加させて頂ける事は健康であり、此の上ない幸です。

この度、秋季グラウンドゴルフ大会に於いて、優勝には縁遠い私にA組での優勝の栄を授かり

ました事嬉しく思います。先般、米原市高齢者スポーツ大会に於いても、それなりの練習の成果が実を結び、輪投げの部で一投の差ではありましたが、

度々の勝に反省会の席で皆様より祝福を受け、又励まされ支えられ、爽快な気分になり、生かされている喜びを味わいました。

これからも健康に留意し、スポーツのみならず、友愛・奉仕・絆を常に心がけて、ボランティア活動を続けてまいりたいと思います。

ヨイトナ、お山千草に、麓は櫻四季を歌われた伊吹山音頭は、旧伊吹村の懐かしい音頭で

和気藹々



上野老人クラブ
松井 賢一

今年の大会の成績はわずか五点の差で準優勝、残念ながらトロフィーに逃げられました。毎回思うことは同じ「今度こそ戴くぞ」と練習に励む今日この頃でございます。

ございます。

爽やかな秋晴れの中、Bコートにて優勝させていただき、大変嬉しく思っています。県立運動場からのスタートでしたが、出だしの五〇メートルで第一打

がかなりオーバーしてフェンス

す。斯くて優勝させていただき、大変嬉しく思っています。県立運動場からのスタートでしたが、出だしの五〇メートルで第一打

が二回達成できた事だと思いま

す。ある大会(参加者二百名程度)での調査によると、ホール

を直撃。一打罰を付加して五打となり、一足早いお正月からの出発に気持ちが切れそうになりましたが、パートナーが気楽な方ばかりで和気藹々とラウンドができ、最終的に何とかスコアを纏める事ができました。一球一打の重みと貴さを再認識させられると共に最後まであきらめないで粘り強くプレーを続けることの大切さを痛感しました。

また、勝利の大きな原因は何と言つても運よくホールインワンが二回達成できた事だと思いま

す。ある大会(参加者二百名程度)での調査によると、ホール

インワンの達成率は四十八打に一回とか。今回のように三ラウンドでの確率は〇・五回出ればいいことになります(ただ、コースの状況等によって一概には言えませんが)。

ステイツクを握つて丸三年、

グラウンドゴルフを始めて良かつたなあと思うことはプレーを通じて多くの人達とのふれあいの中で、お互の一球一打に悲喜こもごもを共有しながら楽しく時間が過ぎることと思つておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

単位老人クラブ活動状況

グランドゴルフで親睦と健康を



弥高老ク会長
山田 璇

今年の夏は異常とも云える猛暑続きの毎日、皆さんには体調の維持管理には大変ご苦労された事と思います。

今後共皆さんより一層のご支援とご協力をよろしくお願ひします。

さて老ク連より單ク老の活動から投稿の依頼を頂きました。年行事も目新しいものもなく早くも半年を経過しようとしている。計画段階ではあれもこれもと思つたが、現実と差異は大きく困難となる。その中でグランドゴルフが大変盛り上がり、週一回の練習を設け多数の方の参加を得て親睦と健康づくりに努力しております。

老ク自体の変革の時期を迎えたか



大清水老ク会長
川西 三十四

今年度の大清水老人クラブの事業計画・行事計画としては、花見の集い、清掃奉仕作業、友愛訪問、会員忘年会、敬老の集いなどです。

例年通りの事業・行事をこなしていくというのが現状です。

私も老人クラブに加入して五年余りになりますが、老ク会長を仰せつかるまでは老人会活動に努力してお

あまり参加をしませんでした。今年度、大清水老人クラブの会長を務めさせていただくことになりましたが、老人クラブの内容があまり把握できていなく会員の皆様にはご迷惑ばかりおかげしているという状況であります。

今後とも事業、行事等に一人でも多くの会員の皆様に参加していただき、親睦を深めながら有意義な老人クラブ活動になることを願っています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

花見の集いは四月に大清水会館にて行われ、会館前の桜の花も満開で、すばらしいお花見ができました。また、会員の皆様の親睦もはかられたのではない

かと思います。
清掃奉仕作業は年三回の計画です。薬師堂、泉神社そして会議所跡地は七月と三月に行い、墓地・ゲートボール場周辺の草刈や清掃作業は八月に行いました。

健康で幸せな人生を



寺上老ク会長
小林 重信

今年の夏は近年にない猛暑が

続き、皆さん方も大変な年であつた事だと思います。寺林・上

平寺の老人会も五年前に比較致しまして、亡くなられた方を含め現在体調を崩されて日常お困りの方を入れますと、当時の約半数の方が活動に参加出来ない状況であります。

最近ほたる教室で運動されている方、又は各種の団体競技に参加されている方、それぞれの

う状況です。老人クラブ自体の変革の時期を迎えたのではと感じています。

今後とも事業、行事等に一人でも多くの会員の皆様に参加していただき、親睦を深めながら有意義な老人クラブ活動になることを願っています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

来る事を望んでいる次第です。

夏季四暮大会の結果 8.1

八月一日(水)第三十七回夏季四暮大会が、ジョイフルに

於いて開催されました。

参加された十四名の方は、A・B組に分かれ、それぞれ四局の対局をされ、結果については次のとおりです。

(敬称略)
A組
優勝 濑澤 淳一(上野)
準優勝 松井 平八(上野)
三位 筒井 正信(高畠)

B組
優勝 堀江 勝司(上野)
準優勝 佐々木才次郎(大久保)
三位 田中 忠實(藤川)

考えが違いますが、自分は競技の勝負にこだわらず、いつも思っている事は、グランドゴルフは特に大勢の方と語り合い乍ら、樂しく出来る事が何よりも、今後残された人生を皆さんと共に和気あいあいとした雰囲気の中で出

美しく老いる⁶⁶短歌が暮らしの
拠り所上板並老人クラブ
室谷八重子

今や日本は超高齢社会になつた。六十五歳以上の人達は三〇七四万人。今後更に昭和二十二年生まれ、二十三年、二十四年生まれと团塊の世代が、高齢者の仲間入りをするのである。

そんな中でも世界の最高齢者は京丹後の木村次郎右門さん

、一一五歳、第一回アテネオリンピックの年の生まれである。

木村さんは「食細くして命長かり」をモットーに筋を通して生きてきたといふ。

木村さんはこの木村さんからみればほんのひよこに過ぎない。それでももう後期高齢者の仲間入りをしている。とはいへ、身体に障害をもつもので、力仕事は何もできない。

職を辞したある日、電車で

出会つた先輩の話が、短歌であつた。とても簡単そうな話で、とても面白ううだし、これなら私もできるのではないか、すぐに引き込まれてしまつた。そして誘われるままに自分でも作り出しだのである。

爾來二十数年、短歌とかか

わってきた。

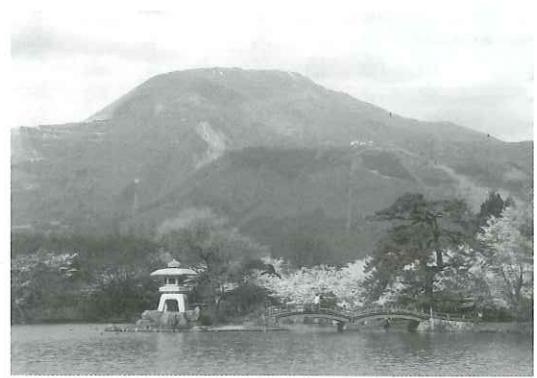
そういうえば伊吹短歌クラブ

のメンバーの中にも九十歳を超えて、深く趣のある短歌を発表しているのを見かけることがある。どんなに年を重ねてもこのように充実した人生を送つておられる感じに感動を覚える。

そんな中でも世界の最高齢者は京丹後の木村次郎右門さん、一一五歳、第一回アテネオリンピックの年の生まれである。

八年には第一歌集『いぶき野』を上梓した。

次にこの中から短歌を抽出してみよう。



姉川の辺に芹摘む手を休めおり水底の砂かすかに動く
姉川の今日の流れは緩くして石と石ぶつかる音のかそけき

うす氷はりし水面に映りいる逆さ伊吹の鴨のついばむ

さて、私が短歌を詠むのはさほど難しいものではない。毎日の日記がわりのようなもので、時に折に触れ感動を覚えたものを三十一文字に表現するのである。幸いにも当地は自然が豊かで短歌の材料には事欠かない。更に日日

手術室の様見極めん基礎麻酔に朦朧となる瞳を凝らす

の暮らしは決して単調ではない。そこで短歌が暮らしの中

で拠り所ともなり、ひとり語りの場になる。今日を生きる自分をありのまま正直に詠むばかりである。

そんな短歌を集めて平成十一年には第一歌集『いぶき野』を上梓した。

蟹を追い帰り忘るる童らの浸れる沢ごと薄暮のつつむ竹叢の竹のふれ合う音しげし花山椒摘む土手を風ゆく

栗の葉の厚く散り敷くふるさとの山は濃霧にぬれて音吸つ大牛の寝ねたる姿に伊吹山は空の青さをひとり占めおり

蟹を追い帰り忘るる童らの浸れる沢ごと薄暮のつつむ竹叢の竹のふれ合う音しげし花山椒摘む土手を風ゆく

手術後に初めて喉^{ののど}を通りゆく重湯梅干ひとさじの味諦めいし命蘇り明日が来んやりたきことまた発酵しはじむ

これは何回も受けた手術の一こまを詠んだものである。

こうしてみると道の辺の雑草にも心動かされ、季節を感じる。日常、非日常を問わず感じるままに短歌を詠む。余り動かない脳を精一杯はたらかせて言葉をあみ出して紡いでゆく。それが知らず知らずの内に頭の活性化につながつてくるのではないかと思う。今では短歌に出会えたことを深く感謝するとともに、今後も生き甲斐のひとつになれば伴せだと思っている。

伊吹老ク連秋季句歌会

平成 24 年 10 月 12 日開巻

短歌十内句 高橋萩風宗匠 選

- 十位 天高く趣味の歌杖花野へと歩を伸ばしつゝ句帳に書き込む
世一シズカ
- 九位 悔いてます生きた世間の人生も間違えた道先には立たず
河瀬 俊藏
- 八位 買う氣なき帽子あれこれ被りおり鏡の前でボーズを取りて
西川 孝
- 七位 何時何處で父は死せしか不明なり戦争の愚を広く知らせる
山崎 智
- 六位 一つだに墓石無くて山里は平家の落武者住みしと聞きし
小倉 定信
- 五位 安らぎは一服のお茶飲む時間平穏の日々午後の陽浴びて
柏 綾子
- 四位 伊吹嶺の麓の里の草舎に孫等集いて迎え火囲む
田中 武
- 三位 伊吹嶺の麓の里の草舎に孫等集いて迎え火囲む
清水 遼玄
- 人位 芒穂の白きが揺れる野の風に若き日通いし山野辺の道
世一シズカ
- 地位 お蔭様老いて仕事の出来ること神仏に謝し地下足袋をはく
天位 嗜みの一日一句句作して雅の奥を探り杖曳く
柏 綾子

俳句十内句 水長水柳宗匠 選

- 十位 人住まぬ庭にたわわに柿熟るる
小倉 定信
- 九位 芋洗う重き水車のきしむ音
世一シズカ
- 八位 そこはかと頂の髪に秋の風
世一シズカ
- 七位 走る子にカメラも走る運動会
小倉 定信
- 六位 千枚田土手を燃やして曼珠沙華
小倉 定信
- 五位 秋風や目覚し孫の機嫌良し
小倉 定信
- 四位 秋暑し草の匂いの石畳
西川 孝
- 三位 何處の田も盛り上るよに稻の波
小倉 定信
- 人位 静寂の山に音して木の実落つ
世一シズカ
- 地位 赤蜻蛉畑に夕陽を零しゆく
田中 武
- 天位 小波に月泳がせて大湖澄む
世一シズカ

猛暑から抜け出し、まさに秋真つ盛り、会員皆様にはスコットに、各行事に老人パワーを發揮しご活躍のことと存じます。

さて、今回の広報「年輪78号」発行に際ましては、約半年間の事業活動それぞれの分野からご寄稿を頂き、老ク連の全容を知つて頂きたいと編集させて頂きました。お陰様でバラエティに富んだ内容にて発行することが出来ました。どうぞ皆さん、じっくりとお読み下さい。

中でも今年の「寿ひろば」は、講師、横山義淳先生の実践に学ばせて頂き、喜寿にして元気一杯、まさに我々の広報「美しく老いる」の模範そのもの：「やれば出来る」：熱と力の九十分であります。

今後も高齢社会の心の糧となる情熱紙めざして、内容充実に努力いたします。

終りに、ご寄稿頂きました方々に厚く御礼を申し上げますと共に、会員皆様には向寒の砌、ご自愛の上ご活躍下さいますよう念じ上げ、後記とさせて頂きます。